

美郷がいちばん、すきです美郷

第23号  
2010.4.15

# ふたし 議会だより

## 3月定例会

まちづくり戦略プロジェクト始動	定例会概要	2
経済波及効果に期待	新年度予算概要	4
美郷の生産調整指針は	全体質疑	6
町づくりについて意見交換	住民と議会との懇談会	14
しみずっこ活動	キラリ美郷人	20

新しい校歌で心ひとつに  
新生六郷小学校開校式

# まちづくり戦略

「農商工連携」「子ども育成」「水環境保全」

# プロジェクト始動

「交流促進」「安全・安心」をまちづくりの柱に



3月定例会を3月3日から16日までの14日間の会期で開きました。審議した議案は、平成22年度一般会計予算案など35議案。そのすべてを、原案のとおり可決しました。

また、一般質問は2氏が登壇して町政をただし、陳情1件を採択しました。

**美** 郷町が誕生して6年目を迎える平成22年度は、総合計画後期基本計画のスタート年となります。今定例会の冒頭におこなわれた町長の施政方針説明では、今年度から取り組み後期基本計画の柱ともなる5つの『まちづくり戦略プロジェクト』が示されました。

**事** 業のプロジェクト化は、昨年から導入され「水環境保全」と「交流促進」に関連した複数の事業を実施しました。今年から、新たに「農商工

連携」「子ども育成」「安全・安心」の3項目が加わり、今後のまちづくりの主要事業として実施されます。

**議** 会では、この平成22年度一般・特別会計の当初予算案を、3月9日全体質疑し3常任委員会に分割して付託し審査しました。そして、最終日に採決した結果、平成22年度一般会計予算を賛成多数で、6特別会計予算を全員賛成で可決しました。

# 経済波及効果に期待

総合計画後期基本計画のスタート年となる平成22年度一般会計当初予算額が、109億960万6千円（前年度当初比4・45%増）となりました。これに、国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」として3月補正予算に前倒した2億3915万5千円を加えると、実質111億4876万1千円の予算額です。これは、平成18年度以降4年ぶりに10億円を超える当初予算規模で、一昨年の世界同時不況の影響がいまだに続く地域経済への波及効果が期待できます。

また、平成22年度からおこなう『まちづくり戦略プロジェクト』では、事業に関連する各課連携での横断的な取り組みがおこなわれ、高度・複雑化する行政課題の解消にも期待できます。以下、平成22年度おこなわれる5つのプロジェクトの主な事業内容を掲載します。

## 農商工連携（地販地消）プロジェクト

農業、商業、工業の業種間連携を図り、地販地消を推進することで地元購買力の向上や雇用の確保、生産の拡大など新たな事業展開と美郷の元気を生み出していきます。

- ▼物販交流団体支援事業 1050万円
- ▼企業連携協議会事業 55万円
- ▼商工会等支援事業 25万円
- ▼農工商振興奨励金交付事業 1022万円
- ▼定住情報提供事業 10万円
- ▼地販地消推進事業 213万円
- ▼農産加工品販売拡大支援事業 150万円
- ▼ふるさと雇用再生臨時対策基金事業 150万円

後期基本計画のスタート年となる平成22年度予算の概要と内容をお伝えします。

## 子ども育成プロジェクト

すべての子供たちが将来の夢を持ち、それに向かって生き生きと成長できるように感性豊かな人間性を育て、将来の美郷を担う子どもたちを育んでいきます。

- ▼学力定着度調査 61万9千円
- ▼学力向上実践研究推進事業 49万6千円
- ▼学校交流事業 348万5千円
- ▼子どもの健康づくり・食育推進事業 50万3千円
- ▼少年スポーツ振興事業 304万9千円

## 水環境保全プロジェクト

美郷の清浄な水環境を大切にすることを意識を喚起するとともに、町民共有の貴重な財産として保全し、次代に引き継いでいきます。

- ▼清水マップ作成事業 47万3千円
- ▼不法投棄防止対策事業 159万5千円

- ▼水辺清掃ボランティア事業 12万8千円
- ▼七滝「水の森」の植樹事業 110万1千円
- ▼水環境マイスター育成事業 18万5千円
- ▼水環境学習交流事業 85万1千円
- ▼水環境学習モデル事業 5万3千円
- ▼施設維持管理事業 221万7千円
- ▼水環境シンポジウム開催事業 83万5千円

## 交流促進プロジェクト

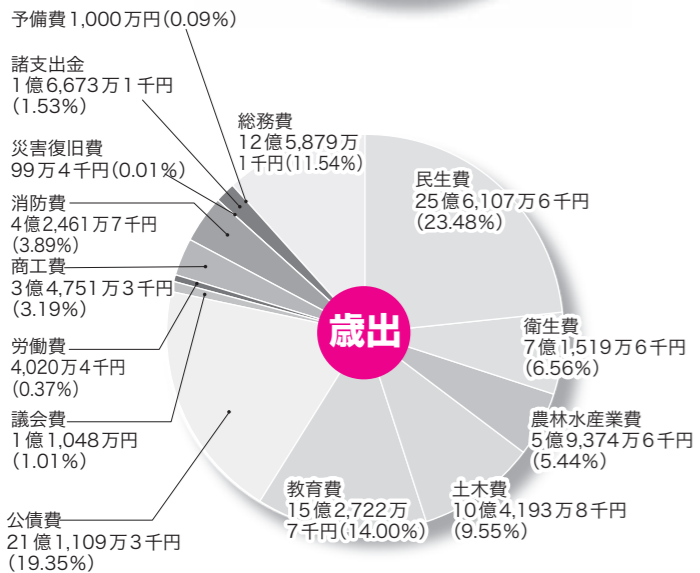
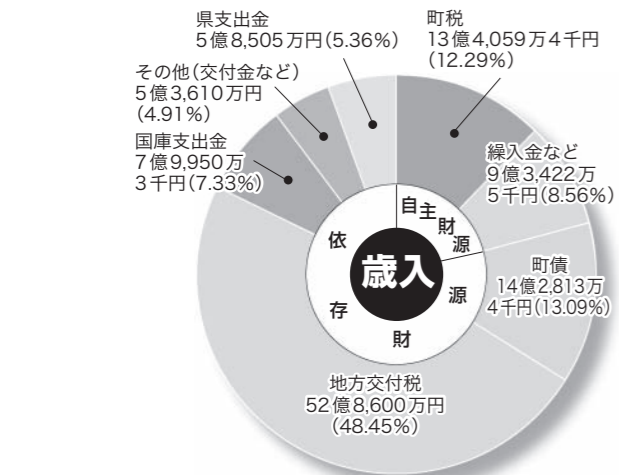
豊穣な大地からの恵み、風光明媚な自然、笑顔あふれる人々、これらの誇れる資源を全国に発信し、さらに人々が集い、ふれあい、活気あふれる美郷にしていきます。

- ▼うりこめ美郷応援事業 761万5千円

## 安全・安心プロジェクト

生活基盤の安全・安心を確保し、町民一人ひとりが、豊かで潤いのある生活を送ることができるよう美郷にいきます。

- ▼子ども双方向交流事業 10万円
- ▼グリーンツーリズム推進事業 10万円
- ▼交流ジャズコンサート開催事業 120万円
- ▼友好都市ふれあい広場開催事業 67万3千円
- ▼OTAフェスタ参加事業 79万8千円
- ▼子ども双方向交流事業 10万円
- ▼グリーンツーリズム推進事業 10万円
- ▼交流ジャズコンサート開催事業 120万円
- ▼友好都市ふれあい広場開催事業 67万3千円
- ▼OTAフェスタ参加事業 79万8千円



平成22年度特別会計予算 ( ) 内は前年比

国民健康保険特別会計	26億8,226万5千円 (9.5%増)
老人保健特別会計	36万円 (71.4%減)
簡易水道事業特別会計	3億7,805万4千円 (35.4%減)
下水道事業特別会計	1億7,308万7千円 (15.3%減)
農業集落排水事業特別会計	2億1,041万9千円 (19.3%減)
後期高齢者医療特別会計	1億9,076万2千円 (1.3%減)

- ▼看護師配置事業 1764万6千円
- ▼六郷保育園(幼稚園)施設整備計画策定調査事業 70万4千円
- ▼生活圏道路・歩道整備事業 1億4315万円
- ▼南ふれあい館耐震改修事業 227万3千円
- ▼行政センター2棟の耐震改修事業 5056万9千円
- ▼健康(検診)・予防対策事業 960万円
- ▼要援護者支援事業(緊急情報キット設置事業) 55万円
- ▼防災備蓄事業 61万円



真新しいランドセルで(仙南西小学校)

## 22年度予算を斬る

# 美郷の生産調整指針は

3月9日、本会議で全体質疑が行われました。

主な質疑を要約してお伝えします。

### 一般会計予算

情報キットの  
効果は

武藤議員 新たに作成する緊急情報キットの効果は。

福祉保健課長 要援護者1100世帯を対象に病歴などを記すことで救急搬送時の適切・迅速な初期対応が期待できる。

病後児対応は

泉(美)議員 病児・病後児保育の具体的な内容をうかがう。

幼児教育課長 病院での病後児保育2000円の半額を助成する。

児童保育の年齢引き上げは

泉(美)議員 児童保育の対象年齢引き上げの考えは。

幼児教育課長 施設の広さから、定員に満たない場合に4年生まで引き受ける考えだ。

子ども手当の影響は

熊谷(隆)議員 子ども手当の1万3000円が支給されるが、これまで



水稻の直播風景

の制度による支給額を下回る事例はないか。  
福祉保健課長 児童手当が廃止されるがこれまでの支給額を下回る事はない。

ガン予防対策は

深澤(均)議員 ガン対策として早期発見治療に取り組んでいるが、同様に再発予防にも力を注ぐ

べきだ。  
福祉保健課長 精密検査の受診率が60%台と低く、再発・重症化防止のためにも受診率の向上に努める。

臨時採用に対する考えは

中村(美)議員 臨時雇用の新規採用に対する考えをうかがう。

総務課長 ハローワークを通じ、人物・技術・資格などを考慮し、できるだけ新規雇用につとめる。  
生産調整指針は

熊谷(隆)議員 生産調整に対する町としての指導指針をうかがう。

町長 戸別所得補償を受けられるよう、従前と同様に生産調整を推進する。

### 賛成討論

中村(美)議員 経常経費の削減に取り組み、各課連携のプロジェクトにより住民の所得向上と、交流人口の拡大に取り組みなど評価すべきと考える。

森元議員 後期基本計画を中心に、今後の美郷の基礎づくりに向けた予算編成であり、財政が厳しい中、地域活性化のために細やかに配分されており賛成する。

### 反対討論

泉(美)議員 町民の暮らしが増々厳しくなる中、新たな負担増となる粗大ゴミ有料化や、住宅リフォーム助成への対応、子供の医療費無料化への取組みなどは十分といえず反対する。

特産物開発の内容は

中村(美)議員 特産物開発の取り組み内容についてうかがう。

商工観光交流課長 国の全額補助による雇用開発事業で、酒造会社3名の雇用により新たな特産物の研究開発に取り組むのだ。

いろいろな音楽コンサートを

泉(美)議員 自衛隊の音楽コンサートだけでなく、いろいろな音楽コン

サートを企画してはどうか。

社会教育課長 自衛隊音楽コンサートは継続し、他のコンサートについては、記念事業などで考えたい。

太陽光発電は単年度か

飛澤議員 太陽光発電への補助は単年度事業か。  
町長 環境にやさしい町づくりとして複数年度で考えている。

就学援助基準緩和は

泉(美)議員 就学援助について基準の緩和がなされているか。

学務課長 従来所得基準が、生活保護基準1.2倍としていたものを1.3倍に引き上げる。

児童の心のケアを

吉野議員 学校統合によって、児童が心を痛めることのないよう努めていただきたい。

教育長 激変緩和加配を県に申し込み1名の加配を予定し、対応していく。また、PTAなどで新しくなる意義を確認し合い、明るい方向へ導きたい。

# 美郷中学校に決定

3月定例会では、平成22年度の当初予算のほかに、24年度に統合する中学校の名称を『美郷中学校』とする

議案を全員賛成で可決しました。これは、統合準備を進めるための措置で、この条例は平成24年4月1日から施行

されます。また、粗大ゴミを有料化する廃棄物条例の一部改正案や、公共施設再編にともなう施設名称の変更議案、平成21年度一般会計補正予算案などを審議しました。

吉野議員 環境問題で大切なのは、循環型社会の形成だ。環境負荷の軽減に向けて、ゴミのリデュース・リユース・リサイクルをすすめるために賛成する。

### 賛成討論

### 反対討論

泉(美)議員 経済不況の中で住民負担を強めるべきではなく、また、不法投棄の増加も懸念される。リサイクル推進などの工夫に取り組むべきで、有料化には反対だ。

### 廃棄物条例の改正

粗大ゴミの料金判断は武藤議員 有料化する粗大ゴミの料金は、どのようにして決定するのか。  
住民生活課長 電話などの受付で、品目・重量に応じた5段階区分に分けられる。

利用は無料だ。

### 松食い虫対策減額理由は

熊谷(良)議員 松食い虫防除委託料の60万円を減額した理由をうかがう。  
農政課長 被害木がほとんどなく、そのための伐倒薫蒸処理費のほぼ全額が残ったものだ。

### 子ども手当の支給はいつか

森元議員 子ども手当の支給はいつからか。また、児童手当との関連をうかがう。  
福祉保健課長 6月に1回目の支給となり、2月・3月が児童手当分、4月・5月が子ども手当分だ。

子どもは町の宝もの



平成24年4月に3中学校が統合されます

### 公共施設名称の改正

名称はそのままでも良い

泉(美)議員 体育館など旧町村に一つだけの施設名称は、場所がわかりやすくそのままが良いと思う。

総務課長 美郷町の一体感を醸成する対応として、北・中央・南を冠していく方針だ。

### いきいき館の管理条例の改正

使用料が高い

熊谷(良)議員 いきいき館の管理を町にしたのはなぜか。

### 21年度一般会計補正予算

新型インフルエンザ対応は

深澤(均)議員 予防ワクチンの接種者数と重症者の報告はあったか。  
福祉保健課長 接種者数は3511名で重症者はなかった。

深澤(均)議員 市町村によって接種助成に格差があったが、拡大防止という観点から県を主体とした自治体間の連

### にぎわい広場の使用料は

飛澤議員 にぎわい広場の使用料徴収はどのようなときか。  
商工観光交流課長 興行などに対しての徴収で、通常の観光客や買い物客などの駐車場

### 第3子保育料補助の今後は

熊谷(隆)議員 第3子への保育料補助は22年度も継続されるか。  
幼児教育課長 継続される。



子どもは町の宝もの

### 総務常任委員会

#### 地方交付税

## 前年度当初比3.7%増を見込む

3月10日、総務常任委員会を開催し、本会議で分割し付託された平成22年度一般会計予算の歳入全般と歳出の議会費・総務費・諸支出金・予備費を審査しました。その結果、賛成多数で可決すべきものとしました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

#### 歳入

##### 地方交付税の計上根拠は

**高橋委員** 国が前年度比6.8%増とした地方交付税を、町で3.7%増に留めた根拠をうかがう。

**企画財政課長** 6.8%は全国平均で、学校や生徒数の減少、事業の終了などの算定基準の減少を加味したが、実質的には7月頃に判明する。

##### 耐震改修の基準は

**森元委員** 一般住宅の耐震改修の基準と、診断方法をうかがう。

**建設課長** 昭和56年以前に立てられた木造住宅が対象で、建築士の資格を持ち県が主催する耐震診断講習会の修了者が診断し、改修が必要か否かを判断する。

##### 温泉施設のサービース充実を

**吉野委員** 最近では近場の

が89%と下がる理由をうかがう。

**企画財政課長** 人件費は適正化計画のもとで下がり、物件費も公共施設再編計画などで下がるが、社会福祉関連の扶助費が上がる予想だ。

##### 地元食材使用の引き上げを

**吉野委員** 地産地消推進の町として、学校給食の地元食材使用割合を引き上げるべきだ。

**学務課長** 地元産は約4割だが、量の確保もあり今後の検討課題だ。

#### 歳出

##### 行政区再編の継続を

**高橋委員** 行政区の再編は、今後も取り組むべきと考える。

##### 長寿祝い金は

**戸澤委員** 長寿祝い金の対象者をうかがう。

**福祉保健課長** 100歳の方に10万円で6名、88歳の方に3万円で134名の予定だ。

##### ふれあい電話は

**飛澤委員** ふれあい安心

##### 防犯灯エコ化は

**中村(美)委員** 防犯灯エコ化の対象地区は、また電気料の軽減はどれほどか。

##### 住民生活課長

六郷地区の清水周辺が対象だ。電気料の軽減にはならないが、6万時間耐用の機器なのでコスト軽減が図られる。

##### 団員の不足数

**福田委員** 消防団員の定員不足数と、その対策をうかがう。

**総務課長** 活動できる行政区を目指して、今後も実施する。

##### 乗合タクシーの改善を

**泉(美)委員** 医療機関と買い物への要望が多い乗合タクシーを、どのように改善するか。

**総務課長** この事業は、民間事業を圧迫しないという基本的な考え方があり、医療機関のほとんど

がバス路線上でその整合性やルート変更など難しい問題がある。

##### 光ケーブルの見直しは

**熊谷(隆)委員長** 光ケーブルを、町内一円に敷設する見直しをうかがう。

**企画財政課長** 現在、Bフレットは六郷地区を中心に敷設されている。今年度は、他の地区のニーズ調査をおこない要望していく。



委員会審査

## 中学生の国際交流

# 新たな企画で韓国へ

3月12日、教育民生常任委員会を開催し、本会議で分割し付託された一般会計予算の民生費・衛生費・消防費・教育費と、国民健康保険・老人保険・後期高齢者医療特別会計を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとしました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

### 教育民生常任委員会

##### チャイルドシートの補助は

**澁谷委員** チャイルドシート購入補助金が減額される理由は。

**住民生活課長** 21年度38名の実績により減額する。



オーストラリアでの国際交流

##### 長寿祝い金は

**戸澤委員** 長寿祝い金の対象者をうかがう。

**福祉保健課長** 100歳の方に10万円で6名、88歳の方に3万円で134名の予定だ。

##### ふれあい電話は

**飛澤委員** ふれあい安心

##### 防犯灯エコ化は

**中村(美)委員** 防犯灯エコ化の対象地区は、また電気料の軽減はどれほどか。

**住民生活課長** 六郷地区の清水周辺が対象だ。電気料の軽減にはならないが、6万時間耐用の機器なのでコスト軽減が図られる。

##### 団員の不足数

**福田委員** 消防団員の定員不足数と、その対策をうかがう。

##### 中学生の国際交流は

**福田委員** 中学生の国際交流状況と22年度の計画をうかがう。

**学務課長** 20年度7名、21年度8名の参加だ。22年度は新たな企画で、韓国交流に20名を予定している。

##### 給食センターの備品購入内容は

**飛澤委員** 北学校給食センターの改装予定と、備品購入はどのようなものか。

**学務課長** 複雑な間仕切りの変更であり、夏休み中に工事を予定している。備品購入は食器洗浄器と汁物用釜の購入だ。

##### 国民健康保険特別会計

##### 基金積立金は

**戸澤委員** 当初の基金積立金はいくらで何カ月分を見ているか。

**福祉保健課長** 1億1千万円で医療費の約1カ月分だ。

# 産業建設常任委員会

## 農産加工品まで販路支援を拡大

3月15日、産業建設常任委員会を開催し、本会議で分割し付託された平成22年度一般会計予算の農林水産業費・商工費・土木費と簡易水道事業・下水道事業・農業集落排水事業特別会計を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとしました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

**美郷を売り込む対策は**

**深澤（義）委員** 売り込め美郷応援事業の、具体的な内容は。

**商工観光交流課長** 製造業も含め美郷産品の日常的な流通、販路拡大を指し、新たに売り込むため町紹介を含めた物販力タログを製作する。

**農産品の販売策は**

**深澤（均）委員** 農産加工販売拡大支援の内容は。

**農政課長** 農産加工チャレニピオン大会を開催し、さらに販売支援まで行っていく。

**事業内容は**

**熊谷（良）委員** 販路拡大応援事業の内容は。

**農政課長** 美郷ブランド品目の施設栽培に対し、新たに100坪10万円を助成し、11月から3月までの野菜・花きと農産加工品の販売額に5%助成するのが主な内容だ。

**若者の研修後押しを**

**深澤（義）委員** 担い手育成のためのフロンティア研修は集落営農推進の上でも効果があり、もっと研修の周知に努めるべきだ。

**農政課長** 県全体で30人程の定員枠があり、研修希望者の相談にも出向いている。今後も広報などで周知につとめる。

全力で企業誘致に努めよ

**深澤（均）委員** 町所有工場への誘致の取り組み状況は。

**商工観光交流課長** 建物がある優位性を活かし、早期誘致実現に向け努めている。

**美郷まんまの販売秘策は**

**深澤（義）委員** 地販地消推進の事業内容は。  
**商工観光交流課長** 美郷まんまのレトルトパック販売を目指す。また町を映像化した道の駅などでPRしていく。

**料金サービスの検討を**

**深澤（均）委員** 温泉施設の利用度または時間帯に応じた料金サービスはできないか。  
**商工観光交流課長** 経営統合が進む段階で検討していく。

歩道を改修できないか

**武藤委員** 諏訪神社から中鎗田に通る歩道に苦情を聞くが改修できないか。  
**建設課長** 基準に沿った歩道でありむずかしい。

**県助成との足並みは**

**熊谷（良）委員** 県のリフォーム助成に町の対応は。  
**建設課長** 町では安全安心という点で耐震改修、環境という点で太陽光発電へ助成する。



美郷まんま



諏訪神社からの歩道

## 「みさと議会だより・第19号」 全国優秀賞受賞



平成21年度町村議会広報全国コンクールで応募総数202紙の中から「みさと議会だより・第19号」が優秀賞に選ばれました。昨年の初入选に続きランクアップの受賞で、これを励みにより町民にわかりやすい議会だよりを目指して頑張つてまいります。

**審査講評**

『表紙の入園児の少し不安、少し興味深々の表情が目から伝わり、お母さんの笑顔と対照的です。見開きは当初予算の主な6事業の写真で紹介してあり迫力があります。レイアウトなどの紙面づくりの技術・文章・用語表記もほぼ万全です。』

## 請願・陳情

採択しました

◇最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を求める意見書採択を求める陳情書

趣旨採択しました

◇非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択についての陳情

## 「美郷町森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟」 設立

3月5日、林産業の活性化を目的に「美郷町森林・林業・林産業活性化推進議員連盟」を美郷町議会議員を会員として設立しました。

## 議会の動き

- 1月 14日 議会運営委員会
- 15日 産業建設常任委員会所管事務調査
- 18日 総務常任委員会所管事務調査
- 19日 教育民生常任委員会所管事務調査
- 20日 議会意見交換会
- 25日 住民と議会との懇談会（27日）
- 2月 1日 第1回議会臨時会
- 15日 議会運営委員会
- 24日 議会意見交換会
- 3月 3日 議会運営委員会
- 3日 議会運営委員会 第2回議定例会（16日）
- 5日 議会広報特別委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 議会全員協議会
- 10日 総務常任委員会
- 12日 教育民生常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 16日 議会広報特別委員会
- 4月 1日 議会広報特別委員会
- 2日 議会広報特別委員会
- 5日 議会広報特別委員会

## これからの町づくりについて意見交換

1月25・26・27日の3日間にわたり町内9会場でおこなった「住民と議会との懇談会」の内容を報告します。

21年度の懇談会には、54名の参加をいただき、「これからのまちづくりについて」をテーマに活発な意見交換が行われました。町政や議会への提言・意見や要望は77項目にのぼりました。

議会では、2月10日に全体検討会を開いて、関係機関への要望事項などを話し合いました。

2月17日、町や観光協会など関係機関に要望書を提出し、3月18日回答をいただいています。以下、話し合われた主な内容や関係機関の回答を要約しお伝えします。

### 議会への要望事項

#### 日中の開催を

**要望** 懇談会を土・日曜日や日中に開催すること、場所を自治区毎に増やすことなどを検討してほしい。

**回答** 開催内容について

検討している。**議会でも議論する**  
**要望** 廃校再利用について議会も充分検討を。  
**回答** 議会として重要な課題と認識しており、今後議論していく。

### 町への要望事項

#### 出会いの場創出

**要望** 少子化で将来が不安だ。原点である結婚問題を町でも対策を考えていただきたい。

**回答** 出会いの場づくり、例えばジャズコンサートなど、若者が幅広く気軽に集う機会を創出し、交際の契機を見つけてもらうことを主として取り組んでいきたい。

#### 登下校はスクールバスで

**要望** 学校統廃合で、子ども達の登下校手段はどうなるか。

**回答** 自宅から学校までの距離が遠くなる児童生徒についてはスクールバスによる登下校を考えている。小学校では登校は1便、帰りは低学年と高学年の下校時間の違いに合わせて運行する予定だ。

#### 廃校の利活用は

**要望** 廃校の利活用について、住民や法人にも活用できるとすれば、周知していただきたい。

**回答** 現在庁舎内に「空き施設等活用庁内検討委員会」を設置し検討に着手している。空き校舎の住民利用については、ニーズを含めて今後地域の意見をうかがっていく。法人利用についても、地域に貢献できる使い道を考えている。

6年生まで無料に  
**要望** 大仙市同様、小学校6年生までの医療費無料化を実現していただきたい。

**回答** 学童保育の対象学年拡大や学校教育法に基づく要保護者などへの経済的支援など、町として優先すべき施策があるので現在のところ拡大は考えていない。

#### 座談会を開催する

**要望** 自治会の意見が行政に届きにくいと感じている。自治会と行政の結びつきを深くするシステムを構築していただきたい。

**回答** 町が主催する行政区ごとの座談会を開催し



大田区民とのジャズコンサート

ていきたい。

また今後も、やまびこ座談会と行政協力員会議などでご意見をうかがいながら、意思疎通を図っていききたい。

#### 自殺防止対策を

**要望** 秋田県全体で自殺者が非常に多い。人と人とのつながりが重要だと

思うが、民間のボランティア活動などでは限界があると感じている。残された家族のケアのための体制整備や、メンタルヘルスについて話しやすい場所の常設など、町でも積極的な対応をしていただきたい。

**回答** メンタルヘルスサポート養成講座を実施

し、その修了者で構成される「てとての会」による憩いの場づくりを支援・推進している。また、民生委員や社会福祉協議会のほか、専門相談機関などとの連携を図り、相談体制の整備に努めている。

### 温泉施設への要望事項

#### 接客の向上を

**要望** 温泉施設職員の接客の向上を指導していただきたい。

**回答** 従業員心得にある接客基本の再確認を朝礼およびミーティングで実施する。相応しい服装、身なりのチェック強化および接客技術の再研修実施や、お客様の要望への機敏な対処方法のスキルアップに務める。

### 観光協会への要望事項

#### 効果が見えない

**要望** 観光協会に町から助成金が出ているが効果が見えない。集客できるような事業に取り組んでもらいたい。

**回答** 21年度は、主な事業の一つとして秋田県観光連盟主催の「秋田まるごとモニターツアー」を寺、清水巡り、サンアー（お風呂・昼食）、坂本東嶽邸、松・杉並木散策で実施するなど、美郷町の新しい観光ルートの開発にも力を入れてきた。これまでの中では一番多く事業を展開し、広報活動も強化してきたが、新年度ではさらなる事業の魅力アップを図ってきたい。



仙南地区での懇談会



秋田まるごとモニターツアー



# 調査意見を報告

美郷町議会では、1月15日から19日の間に3常任委員会それぞれに所管事務調査をおこないました。調査後、意見を集約し議会に報告しました。その内容を要約しお伝えします。

## 総務常任委員会

平成22年1月18日

①平成21年度入札状況  
平成21年4月1日から平成22年1月14日までの入札件数は223件である。

模や行政協力員の役割の違いを見直し、統一化を図ってきた。  
集会所の新築や増改築の事業費助成を継続実施している。

### 〈調査意見〉

町発注の工事や物品購入の入札は、適正に執行されているが、中には極端に低率の落札もあり、事前の調査から竣工後の検査まで、より正確性を求めたい。

②行政区の再編状況  
旧3町村の行政区の規

### 〈調査意見〉

まだ、1桁台の世帯数の行政区もあるが、人口減少や高齢化が進む社会環境の中で、地域コミュニティが維持されるかを考える必要がある。今後、地域の自主性を尊重しながら行政区再編に取り組みされたい。



委員会調査

### ◆行政区の推移

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
六郷地区	42 行政区	38 行政区	35 行政区
千畑地区	29 行政区	29 行政区	29 行政区
仙南地区	72 行政区	58 行政区	52 行政区
計	143 行政区	125 行政区	116 行政区

③公共施設再編に伴う  
工事施工後の状況と各  
施設の工事内容

1. 美郷町役場仙南出張所改修工事
2. 美郷町役場六郷出張所改修工事
3. 美郷町老人福祉センター改修工事
4. 美郷町役場改修（車庫新築含む）工事
5. 美郷町保健センター改修工事
6. 美郷町六郷体育館渡り廊下改修・下水道接続工事
7. 公用車庫（保健センター）・学友館共同車庫）新築工事

### 〈調査意見〉

合併後、初めての大規模な施設の変更であり、出張所の休日の関係など、町民に周知不足もみられる。役場2階の課・局・会議室や、第2庁舎などに訪れる方のため大きな表示が必要と思われる。六

郷出張所に駐車場の早期整備が望まれる。



現地調査

## 教育民生常任委員会

平成22年1月19日

①学童保育の現状と課題  
放課後児童クラブは各地区に1箇所ずつあり、小学校1年生から3年生までの児童を対象としている。

### 〈調査意見〉

保護者の希望の多い小学校内で実施の場合、専用部屋の確保や、学校の運営と授業に影響を与えない方法を検討されたい。

## 産業建設常任委員会

平成22年1月15日

①町内にある河川の現状  
町内の河川は、県管理の1級河川が14河川、町管理の準用河川が11河川となっている。

### 〈調査意見〉

河川整備は計画的に実施されている。しかし、依然として土砂の堆積や草木の繁茂が著しい河川があり、早急に着手が望まれている。県への要望や町による整備を実施されたい。

②平成21年度工事発注  
状況  
建設課では、1月8日現在で100件の工事が発注されている。

### 〈調査意見〉

塗装工事の中で、著しく低い入札が数件あった。

### ◆六郷地区の上下水道の現状

事業名	地区名	加入率
簡易水道	六郷西部	98%
簡易水道	六郷東部	20%
簡易水道	美郷町計	77%
公共下水道	六郷	45%
集落排水	美郷町計	91%



現地調査

③六郷地区の上下水道の現状と課題  
路面に積雪による凹凸の状況もなく良好であった。

### 〈調査意見〉

簡易水道六郷東部地区と公共下水道の加入率は、わずかに伸びている

が、いまだ低い状況にある。この状況が続くと町財政に影響をおよぼす恐れもある。  
水環境保全条例制定の町として加入拡大に努められたい。合併後5年経過しており、料金の格差を是正するべきだ。

一般質問

文化財行政や

国保税を質す

ただ

質問者

熊谷 隆一 議員  
泉 美和子 議員

県道角六線の整備計画は

県など関係機関に要望活動を繰り返し展開してきた。

議員 県道角六線は真屋荘から福祉センター前広場信号間の歩道整備が未着手だ。県への要望と計画は。

町長 畑屋、本堂、土崎地区の整備については、

県の説明では、畑屋地区の歩道整備の早期完了を優先するので具体年度は示されていない。町としては、他の地区を早期に事業着手されるよう引き続き要望していく。

どうする文化財行政  
総合的に検討する

議員 地域の歴史を知ることは町政発展につながる観点から、公共施設再編による文化財行政について次の4点をうかがう。  
①学友館併設予定の資料展示館と映像展示の基本的な考え方。  
②歴史ハンドブックの内容。  
③本堂城跡の発掘調査予定と発掘財の整理展示方法。  
④千畑郷土資料館一帯と桜の木を含めた小学校グラウンドの整備方針。

町長 文化財行政では、交流や観光を見据え、歴史や文化財をどう生かすかが大切な観点だ。こうしたことを踏まえ、  
①郷土資料館の整備を進



熊谷 隆一 議員

めているが、資料点数も3地区で一万点を越え展示内容などは今後の検討課題だ。映像資料は後期計画に盛り込んでおり、展示は総合的に検討する。  
②歴史ハンドブックは、地域融和を促進し郷土愛を幅広くむと認識し後期基本計画に盛り込んでいく。  
③発掘調査は、圃場整備や道路改良整備などの開発行為に際し試掘を行い、調査を進めている。展示などについては、出土品すべて保管しており、郷土資料館の再編統合を実施する際検討したい。  
④千畑郷土資料館は、解体の妥当性について検討し、今後、外部検討委員で議論していく。  
千屋小学校については、学校統合を踏まえ校舎改修とグラウンド改修を検討しているが、周辺は県の緑地環境保全地域となっており、ソメイヨシノの寿命も踏まえて検討していく。



千畑郷土資料館

国保税の減額を

可能な限り考慮

議員 格差と貧困、雇用破壊や中小企業経営の悪化が進む中、国保加入者の生活は厳しく、これ以上の負担を求めるべきではない。安心して医療を受けられるためにも、国庫負担の大幅増額を国に求め、国保税の減額や減免制度の周知を図るべきだ。

町長 21年度から、当初予算において可能な限り、国保事業基金を取り崩し負担増にならないよう考慮した結果、繰越金並びに基金残高が減少している。22年度も繰越金が当初予算計上を大きく上回ることを期待し、場合によっては基金の取り崩しも視野に入れ負担増の軽減に留意する。

議員 後期高齢者医療制度が継続する限り、差別はもとより高齢者の暮らしと健康に深刻な負担を強いることになる。現行制度を廃止し一旦老人保健制度に戻すよう国に求めるべきと考える。

後期高齢者医療制度の廃止を求めて

町長 後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者を通じ要望していく。医療費の減免制度の周知では、個別の相談対応の際に必要なに応じて制度内容を周知する現実的な対応をしている。

議員 後期高齢者医療制度が継続する限り、差別はもとより高齢者の暮らしと健康に深刻な負担を強いることになる。現行制度を廃止し一旦老人保健制度に戻すよう国に求めるべきと考える。

町長 後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者

とともに支え合う制度と認識している。

本制度は新政権において、24年度末をもって廃止方針が示されており、町としては動向を注視し、秋田県後期高齢者医療制

度広域連合など関係機関との連携を深め、本制度の運営に万全を期したい。



泉 美和子 議員



仙南診療所

# キラリ美郷人 VOL.18

シリーズ



キラリ美郷人は、学校シリーズ第2回目として旧六郷小学校の活動を紹介します。

## しみずっこ活動

(旧)六郷小学校



本校の特色ある活動の筆頭は、「しみずっこ活動」と称している「異学年交流・縦割り活動」です。年度初めに編成されたグループで、4月に出会いの会を行ってから、運動会・わくわく町探検・なべっこ・ちびっこカマクラ・ランチタイムなど、様々な活動を行います。

今年度の町探検は、美郷町に

なつて5年という事もあって、仙南地区へ出掛けてみました。後三年駅から出発して、山本山方面へとクイズを解きながら進み、スキー場芝生では、みさぼーとの方から、グランドゴルフを教えてもらいました。たいへんいい天気で、公園で食べたお弁当は、格別でした。

ナー・甘酒コーナー・児童会提案の雪上ゲーム(竹打ちもありました)を、楽しみながら回りました。3月に入って6年生に感謝する会も、やはりこのグループでの活動になりましたが、低学年に優しく接してくれたお兄さんお姉さんに、たくさんのお兄さんお姉さんが降りました。たくさんのお兄さんがとうを言ってくれた下学年の子も、きつとありがとうをいっばいもらえる子になると信じています。

校長 小松陽一

### 編集後記

2月9日、昨年4月に発行した「みさと議会だより・第19号」が、全国議会広報コンクールで優秀賞獲得との朗報が届きました。

今後、多くの自治体の研修視察が予想され、議会活動のひとつが「交流促進」を掲げるまちづくりの一助となることを喜んでいきます。

今定例会で可決した粗大ごみの有料化も、町が掲げる「自然にやさしいまち」づくりの一環です。町民のひとりとして、一助となれるようにと思っています。

吉野 久

### 議会広報特別委員会

委員長	泉 美和子
副委員長	深澤 均
委員	吉野 久
委員	戸澤 勉
委員	飛澤龍右衛門
委員	深沢 義一

次回定例会は、6月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)  
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。